

# 平成25年3月期 会社説明会

平成25年6月4日



## ■ 経営理念

- 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。
- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、お客様と共に繁栄します。
- 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。

# 目次

## ■ カンダグループの概要

会社概要・事業概要	1
会社沿革	2
カンダグループの構成	3
カンダグループの主要な営業拠点	4

## ■ 平成25年3月期決算の概要

売上高・営業利益の推移	5
経常利益・当期純利益の推移	6
取扱品目別売上高の構成	7
連結財務指標	8
連結貸借対照表	9
連結キャッシュフロー計算書	10
配当金及び配当性向の推移	11

## ■ 中期経営計画

前中期経営計画の総括	12
中期経営計画	15
事業戦略	18
国際物流事業の取組み	21
CSR (Corporate Social Responsibility)	24
安全への取組み	25
BCP (Business Continuity Plan)	26



# カンダグループの概要

商号	カンダホールディングス株式会社
本店	〒101-0061 東京都千代田区東神田3-1-13
本社事務所	〒115-0051 東京都北区浮間4-22-1 PRO-1浮間5階
電話/FAX	03-6327-1811(代表)／03-6327-1800
創業	昭和18年11月
代表者	代表取締役社長 勝又一俊
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数(連結)	1,795名(平成25年3月末日現在)
グループ会社	22社



(堺物流センター)

平成25年:埼玉県「久喜物流センター」竣工予定

蓮田・南東北・久喜にて太陽光発電事業開始予定

平成24年:「南東北物流センター」・「堺物流センター」竣工

「カンダ物流株式会社」発足、北関東5拠点を統合

「株式会社ハーバーマネジメント」(現ペガサスカーゴサービス)

「株式会社ジェイピーエル」をグループ化

海外拠点として「PGEタイ」・「PGE上海駐在員事務所」を設立

平成23年:国際宅配部門の事業譲受により

「株式会社ペガサスグローバルエクスプレス」業務開始

平成21年:持株会社体制へ移行

商号を「カンダホールディングス株式会社」に変更

平成16年:東京証券取引所市場第二部へ株式上場

平成6年:日本証券業協会に株式を店頭登録

平成3年:カンダコーポレーション(株)へ社名変更

昭和38年:出版物共配開始

当社の呼びかけで全国への出版物流を共同配送化し実施。

昭和20年代:定期路線網の構築

「神田便」の名称で定期便を運行、路線事業開始

昭和19年:神田運送(株)設立

神田運送株式会社設立。本社:東京都神田区佐久間町 資本金:230万円

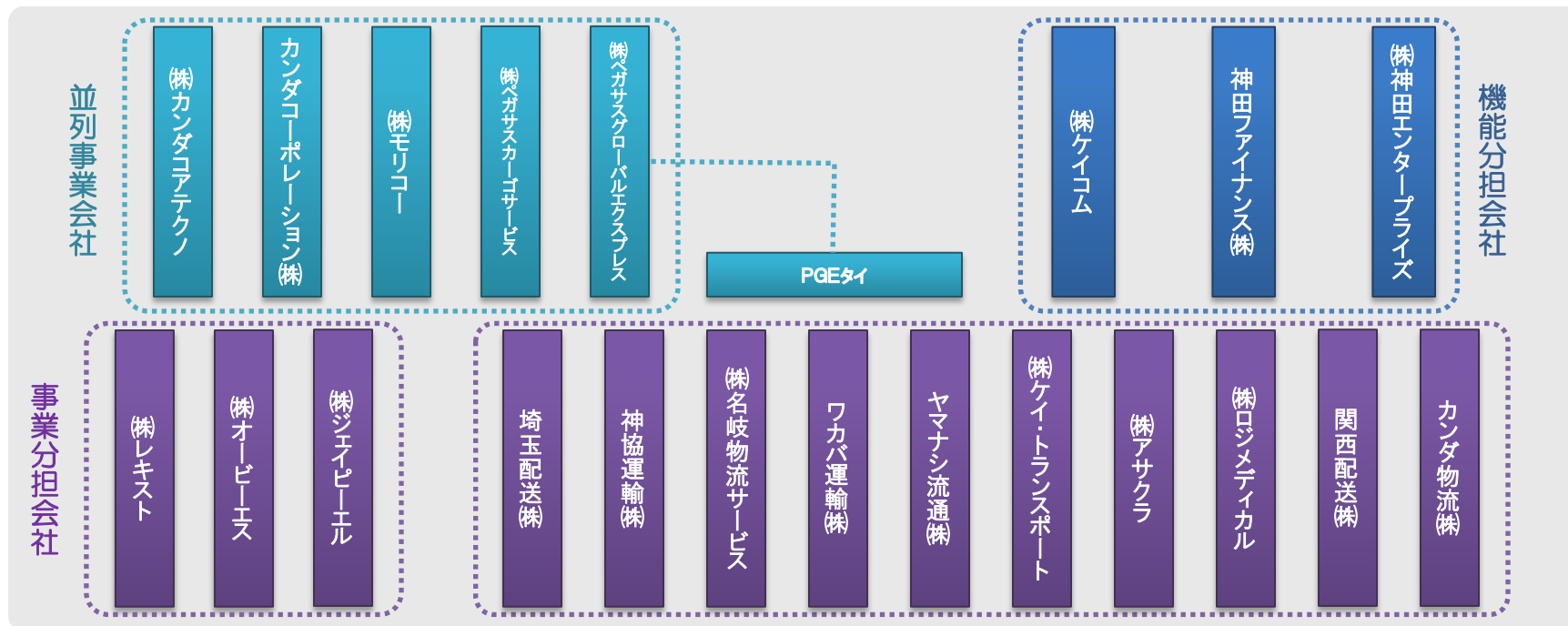
昭和18年:発足

自動車交通事業法により東京都神田区内の全運送会社16社が一括統合され発足する。

価値ある物流を未来へ

運送業から物流業へ





## 東京

- (千代田区) 西神田営業所
- (江東区) 有明営業所
- 辰巳営業所
- 江東FDC
- (北区) 浮間物流センター
- 浮間営業所
- (西多摩郡) 多摩センター
- (杉並区) ワカバ運輸(株)

## 栃木

- (足利市) 足利中央営業所
- 足利野田営業所
- (小山市) 小山協同センター
- (鹿沼市) 宇都宮営業所
- (宇都宮市) 宇都宮北営業所

## 群馬

- (高崎市) 高崎営業所
- 日高営業所
- (伊勢崎市) 伊勢崎営業所
- (館林市) 館林営業所
- (太田市) 太田営業所
- (邑楽郡) 邑楽営業所
- 北関東物流センター



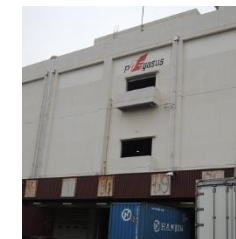
(南東北物流センター)



(堺物流センター)



(北関東物流センター)



(大井海貨センター)

## 埼玉

- (さいたま市) 岩槻物流センター
- (所沢市) 所沢センター
- (熊谷市) 熊谷営業所
- (戸田市) ロジテクノセンター
- 引越総合センター
- (蓮田市) 蓮田物流センター
- (加須市) 埼玉営業所
- 埼玉センター
- 加須花崎営業所
- 大利根センター
- (春日部市) 埼玉配送(株)
- (川口市) (株)アサクラ
- (上尾市) JPL上尾物流センター
- (久喜市) 久喜物流センター(建設中)

## 大阪

- (堺市) 大阪第二営業所
- 堺物流センター(新設)
- (東大阪市) 東大阪営業所
- (株)モリコー
- (門真市) 門真営業所

## 千葉

- (浦安市) 東京センター
- (習志野市) 習志野物流センター
- (東金市) 東金センター

## 山梨

- (甲府市) ヤマナシ流通(株)

## 宮城

- (仙台市) 東北物流センター
- 南東北物流センター(新設)

## 愛知

- (小牧市) 小牧営業所

## CS営業部

東京/北関東/関西/東海

## ヘガサスグローバルエクスプレス

東京本社/中部(浜松)支店/大阪支店/  
名古屋支店/PGEタイ/PGE上海/

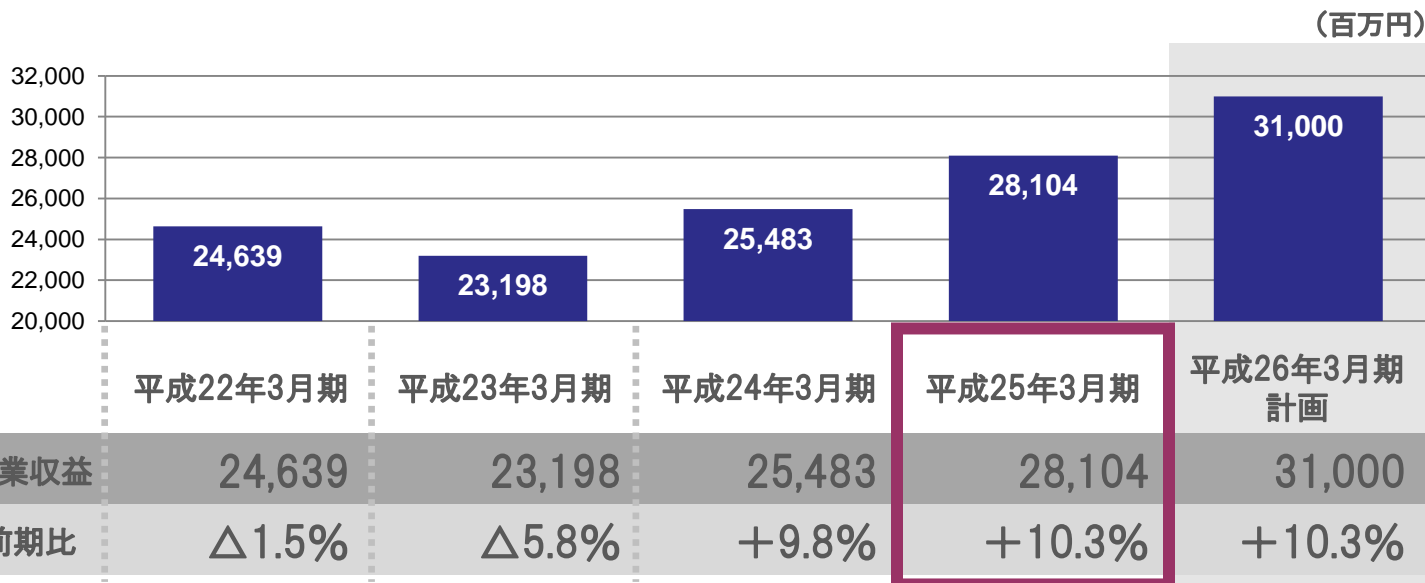
## ヘガサスカーゴサービス

大井海貨センター  
大井青果センター  
成田通関センター

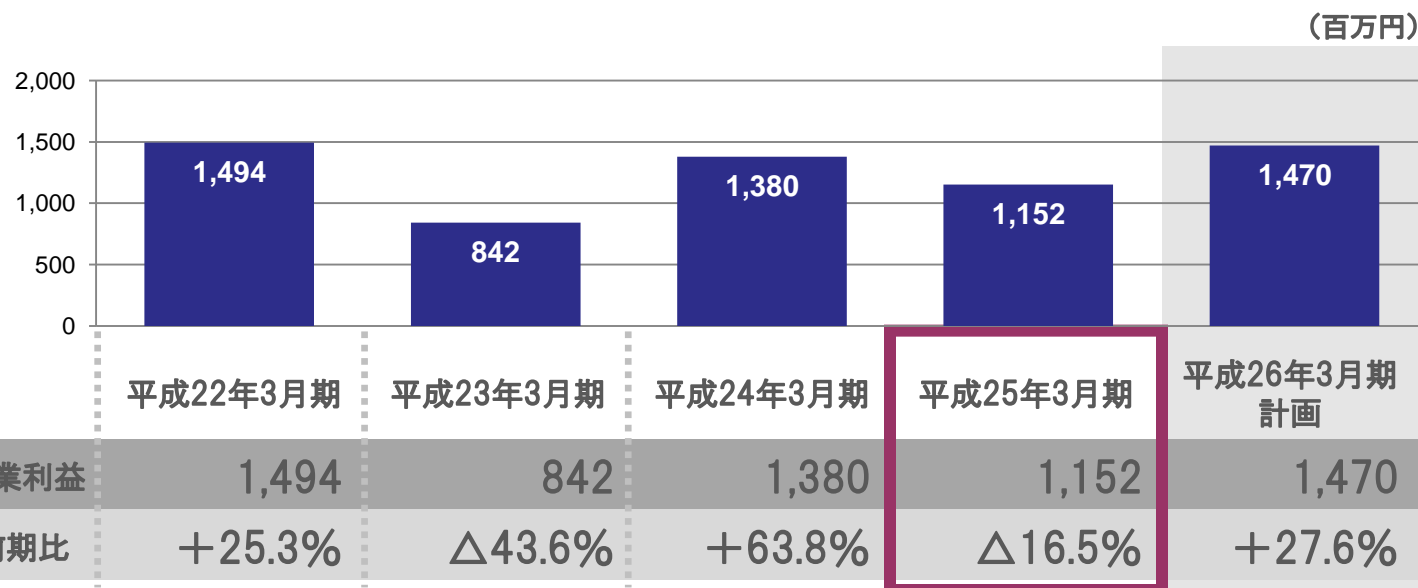


# 平成25年3月期決算の概要

## ■ 売上高

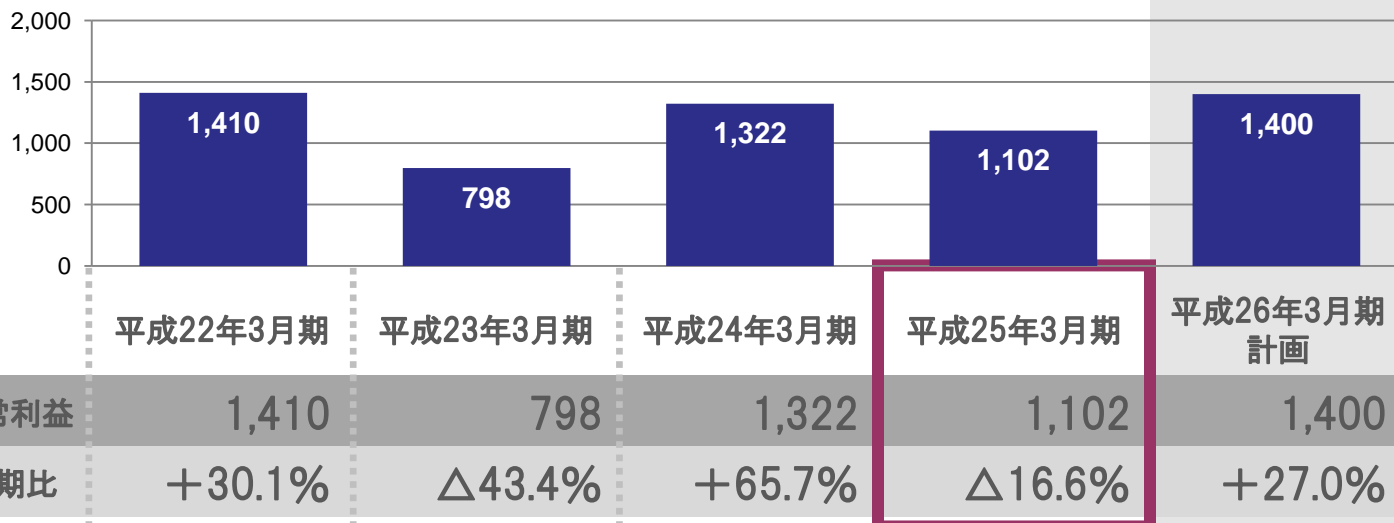


## ■ 営業利益



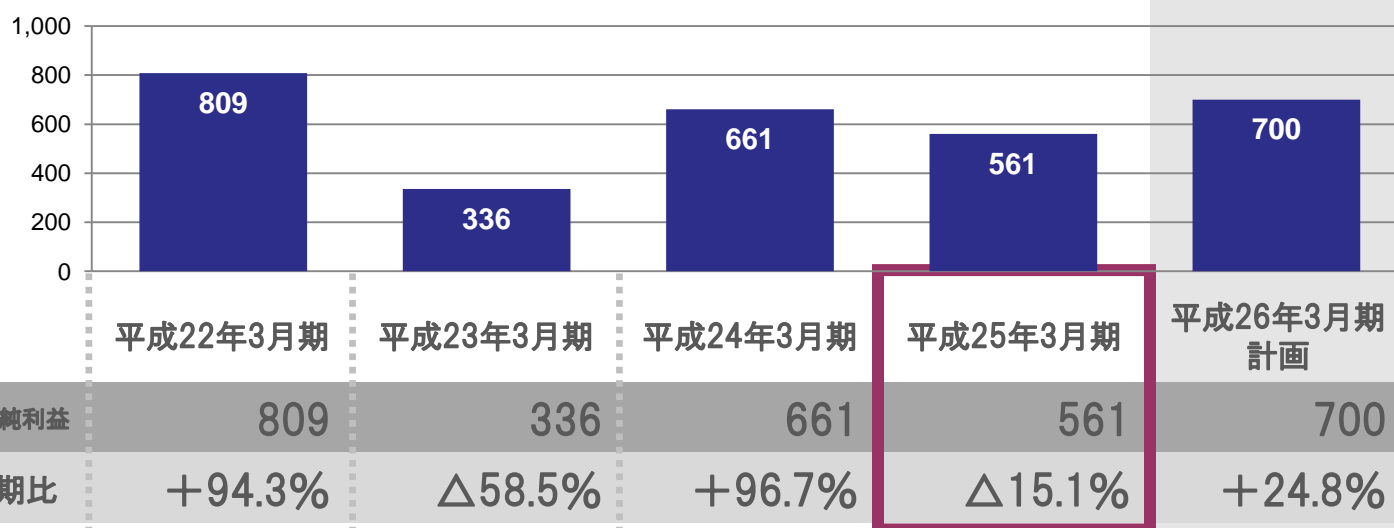
## ■ 経常利益

(百万円)

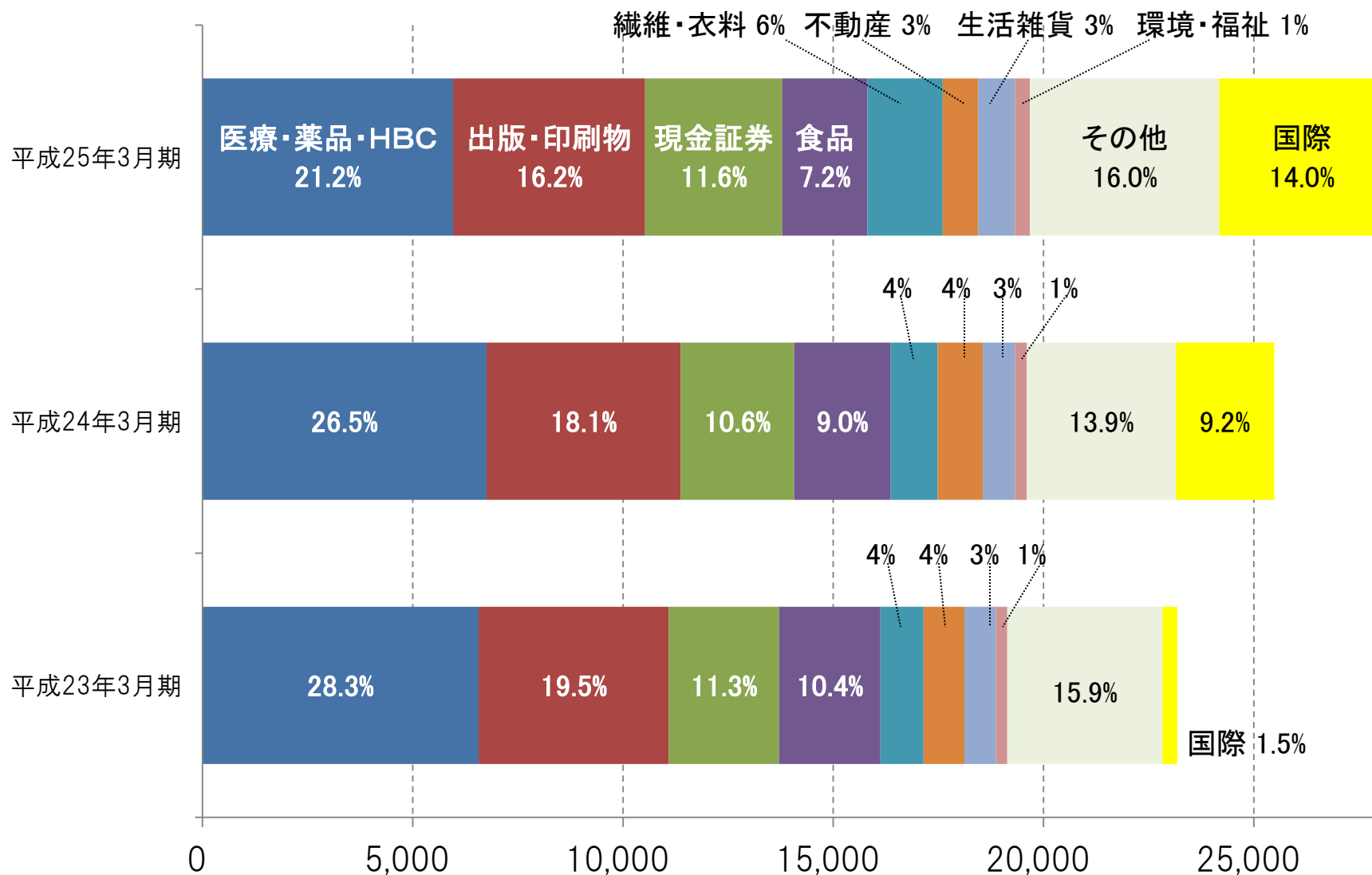


## ■ 当期純利益

(百万円)



# 取扱品目別売上高の構成

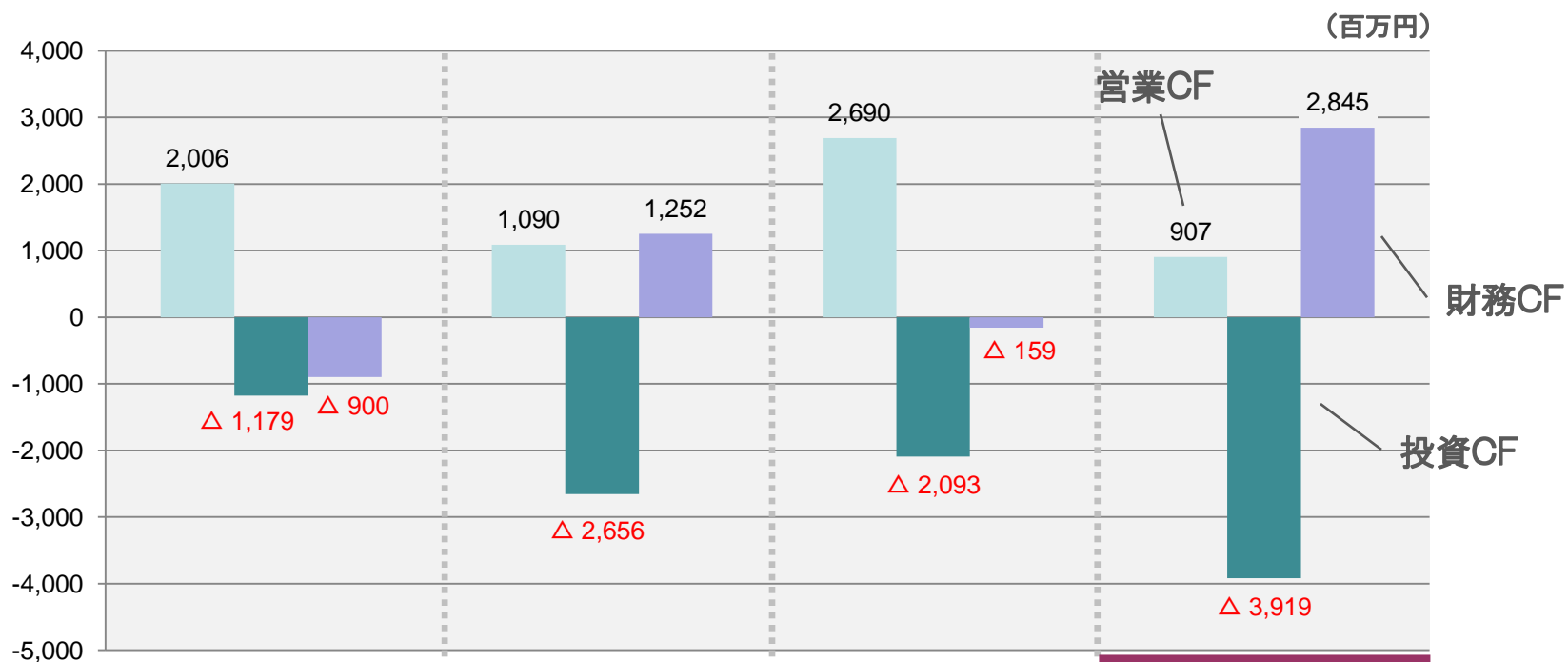


	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
総資産 (百万円)	28,833	30,287	33,504	37,004
純資産 (百万円)	11,089	11,328	11,951	12,492
1株あたり純資産 (円)	1,024.1	1,044.6	1,101.5	1,150.3
1株あたり当期純利益 (円)	74.8	31.2	61.4	52.1
自己資本比率 (%)	38.2	37.1	35.4	33.5
自己資本利益率(ROE) (%)	7.5	3.0	5.7	4.6
総資産経常利益率 (%)	4.9	2.7	4.1	3.1
売上高営業利益率 (%)	6.1	3.6	5.4	4.1
売上高経常利益率 (%)	5.7	3.4	5.1	3.9
負債資本倍率(D/Eレシオ) (倍)	0.91	1.02	0.97	1.22
有利子負債 (百万円)	10,125	11,515	11,492	15,053
債務償還年数	5.0年	10.6年	4.3年	16.6年



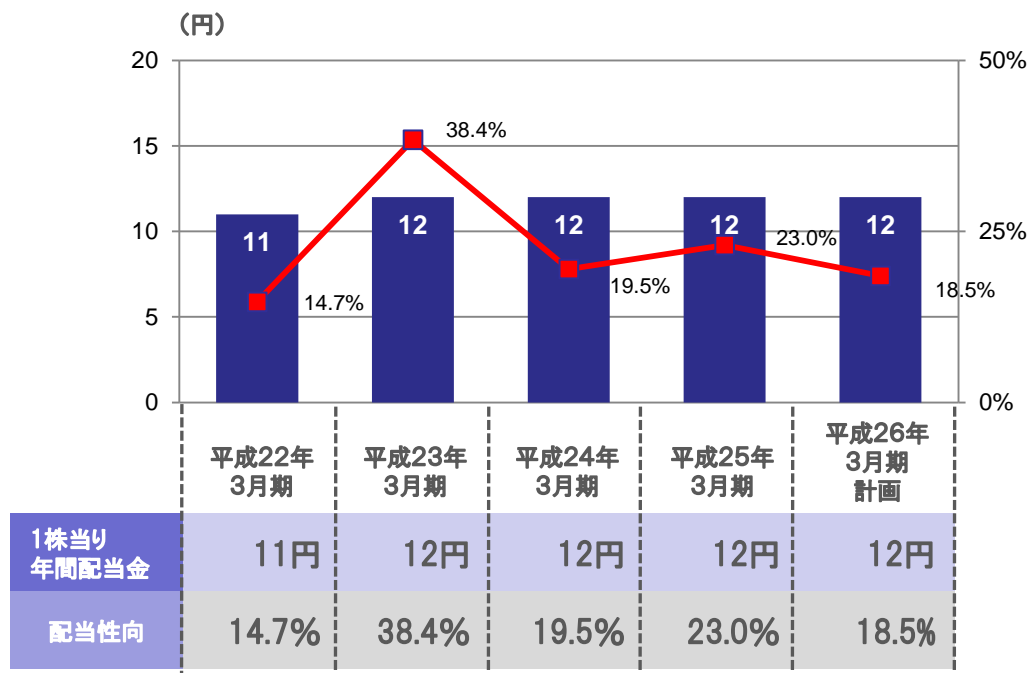
(百万円)

	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
流動資産	7,673	7,436	9,719	9,353
固定資産	21,159	22,851	23,785	27,651
資産合計	28,833	30,287	33,504	37,004
流動負債	12,312	13,848	14,772	16,214
固定負債	5,431	5,111	6,781	8,298
負債合計	17,743	18,959	21,553	24,512
純資産合計	11,089	11,328	11,951	12,492
負債・純資産の合計	28,833	30,287	33,504	37,004

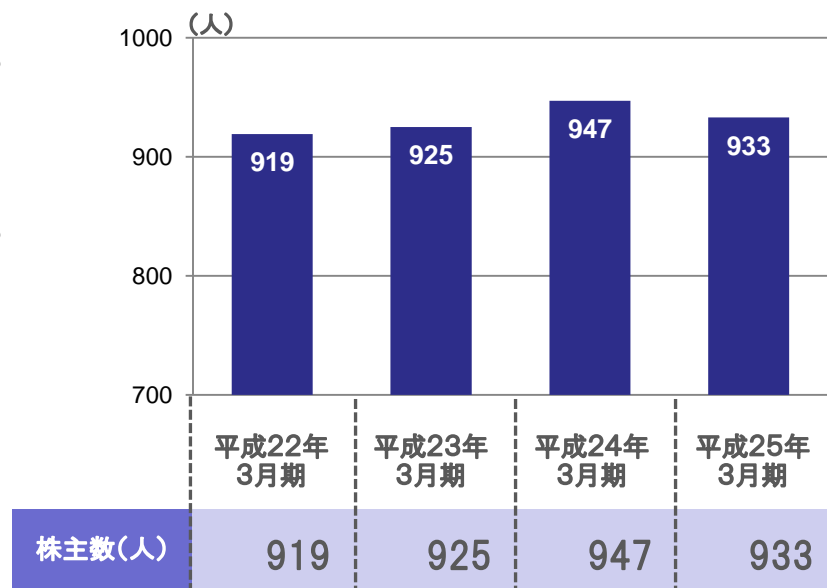


	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
営業CF	2,006	1,090	2,690	907
投資CF	△1,179	△2,656	△2,093	△3,919
財務CF	△900	1,252	△159	2,845

## ■ 配当の状況



## ■ 株主数の推移



## ■ 自己株式取得状況

平成25年3月末までの間に397株増加、平成25年3月末時点の自己株式は891,245株(総発行株式に占める割合:7.64%)となっております。

## ■ 単元株の変更

平成25年4月より単元株を1,000株から100株へ変更しております。

## ■ 株主優待制度

株主優待制度として図書カードを進呈しております。

保有株式数	枚数
1,000株以上	1枚
3,000株以上	2枚
5,000株以上	3枚





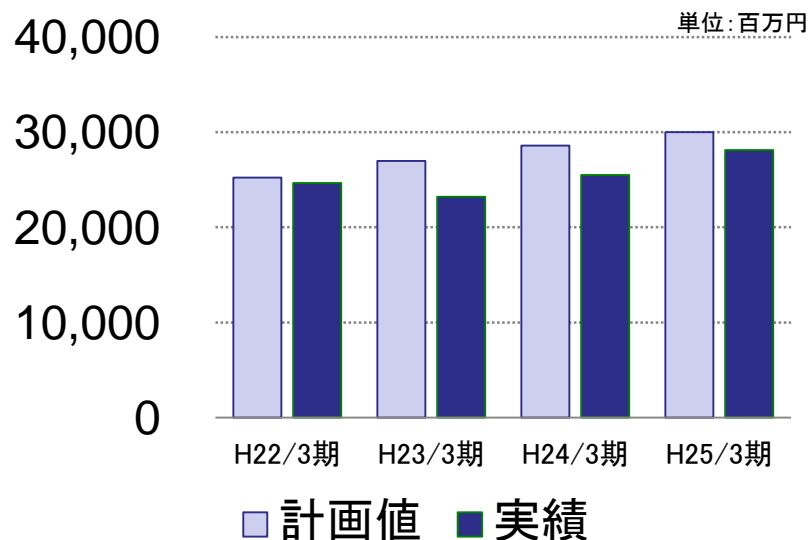
# 中期経営計画

平成25年4月～平成28年3月

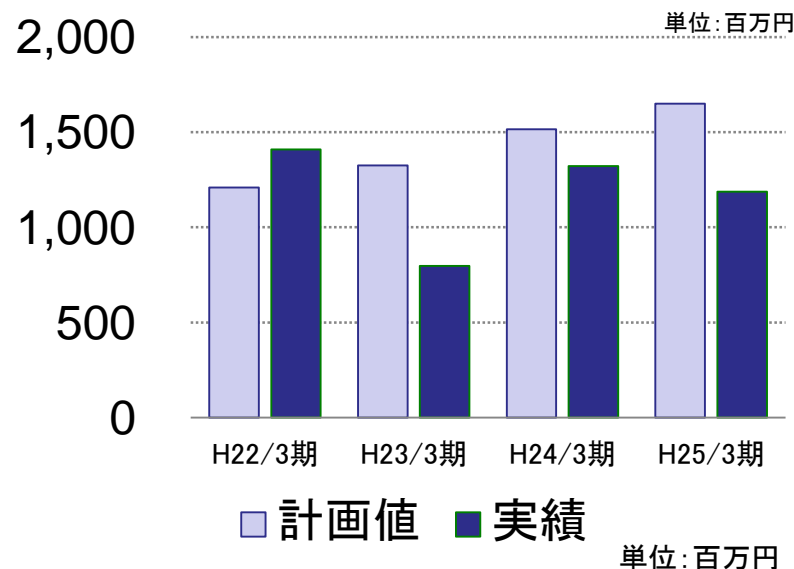
『LET'S GO 500』

## ■ 平成22年3月期～平成25年3月期における売上高・経常利益の推移

### 売上高



### 経常利益



	H22/3期			H23/3期			H24/3期			H25/3期		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	見込	達成率
売上高	25,230	24,639	97.7%	26,970	23,198	86.0%	28,600	25,483	89.1%	30,000	28,104	93.7%
経常利益	1,210	1,410	116.5%	1,325	798	60.2%	1,515	1,322	87.3%	1,650	1,102	66.8%
自己資本比率	-	38.2%	-	-	37.1%	-	-	35.4%	-	41.0%	33.5%	△7.5
D/ELシオ	-	0.92	-	-	1.02	-	-	0.97	-	0.97	1.22	△0.25

## ■ 事業内容

### 1 新規事業所開設

- 平成22年11月 北関東物流センター竣工
- 平成24年12月 南東北物流センター竣工
- 平成24年12月 堺物流センター竣工



### 2 M&A

- 平成23年 2月 (株)ペガサスグローバルエクスプレス事業譲渡により事業開始
- 平成24年 9月 (株)ジェイピーエル買収
- 平成24年11月 (株)ハーバーマネジメント買収  
(現(株)ペガサスカーゴサービス)



### 3 海外展開

- 平成24年 9月 (株)ペガサスグローバルエクスプレス  
上海駐在員事務所開設
- 平成24年10月 (株)ペガサスグローバル・タイ設立
- 12月 バンコク空港事務所開設



## 4 組織再編 トランスネット営業部

平成23年9月 関西配送設立

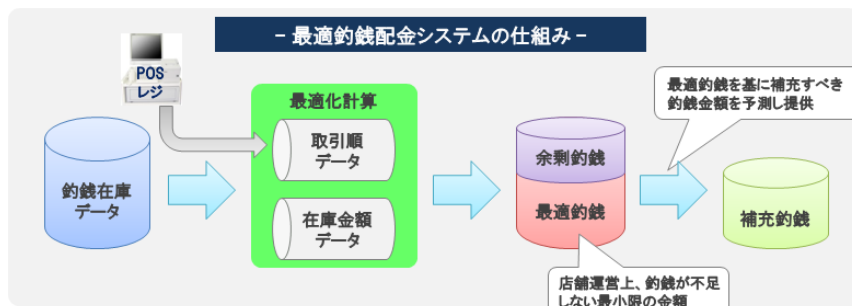
関西地区営業所、グループ会社の統合 出版共配主幹会社

平成24年4月 カンダ物流設立

北関東地区営業所、グループ会社の統合

## 5 新規ビジネス CS営業部

平成24年10月 最適釣銭配金システム特許取得



平成25年2月 太陽光発電売電事業参入決定

蓮田物流センター

久喜物流センター

南東北物流センター



## ■ 連結計数計画 (単位百万円)

		H25/3期 実績	H26/3期	H27/3期	H28/3期				
売上高		28,104	34,000	39,200	44,000				
	国内	24,151	26,200	27,575	29,000				
	国際	3,953	5,800	7,625	10,000				
	M&A	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>国内</td> <td>451</td> </tr> <tr> <td>国際</td> <td>425</td> </tr> </table>	国内	451	国際	425	0	2,000	4,000
国内	451								
国際	425								
経常利益		1,102	1,500	1,750	2,000				
経常利益率		3.9%	4.4%	4.5%	4.5%				
自己資本比率		33.5%	33.5%	33.8%	34.3%				
D/E レシオ		1.22	1.17	1.11	1.05				

## ■ 連結キャッシュフロー (単位百万円)

	H26/3期	H27/3期	H28/3期
営業CF	1,821	1,946	2,039
減価償却費	1,200	1,200	1,200
当期純利益	750	875	1,000
その他	△129	△129	△161
投資CF	△1,400	△1,500	△1,600
車両	△300	△300	△300
物流C	△600	△700	△800
その他	△500	△500	△500
財務CF	△400	△400	△400
返済	△1,100	△1,100	△1,100
借入	700	700	700

## ■ 重点課題

### 1 全国配送網の確立

- M&A、アライアンスの強化によるネットワークの確立
- 地域宅配、地域共配事業所の開設・拡大

### 2 国際物流の拡大

- アジアを中心とした拠点の設置拡大
- 3国間物流、国際一貫物流の構築
- 国際物流施設・機能の整備

### 3 情報システムの強化

- 顧客志向に合わせた専門的なWMS・TMSの構築
- 物流ITの進化を活用し高性能でスピーディーな情報サービスの提供により顧客満足度を高める

### 4 グループ内整備および拡充

- 事業、拠点、部門のスクラップ&ビルドを行い、経営のスリム化を図ることにより一定の利益率を確保する

## ■ 平成25年度 経営方針

【スローガン】

Next Challenge ! ～ 次への挑戦 ～

【基本方針】

1. 収益力向上にチャレンジ！
  - － すべての営業所、グループ会社を黒字化しよう。
2. 国内外の業容拡大にチャレンジ！
  - － 新規営業の獲得、国際物流の拡大を図ろう。
3. 事故半減にチャレンジ！
  - － 交通事故の事故率5%未満を達成しよう。



営業部・グループ会社	重点戦略
カンダコアテクノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品上流物流への進行</li> <li>・ 食品メーカー物流の新規開拓</li> <li>・ 東北地区・西日本地区における配送拠点構築</li> </ul>
トランスネット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同配送提案による配送エリア拡大</li> <li>・ 関西中京地区における出版配送事業再編</li> <li>・ 地区別グループ会社の再編</li> </ul>
流通センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ センター請負業務の拡大</li> <li>・ TC・DC複合型の物流提案</li> <li>・ 許可認可(化粧品製造)の営業活用</li> </ul>
3PL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流通業(小売りSM・CVS・HC)の新規開拓</li> <li>・ サービス業(卸・外食)の新規開拓</li> <li>・ 顧客先物流基地の再編提案</li> </ul>
CS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業区域外の協業体制確立</li> <li>・ 最適釣銭配金システムによる差別化</li> <li>・ 配送網を活用した新商品の取り扱い</li> </ul>

営業部・グループ会社	重点戦略
LS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ センター事業収支改善</li> <li>・ 共同配送の拡充</li> <li>・ 情報通信商品開発</li> </ul>
ペガサス (国際)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際輸送におけるグループ内一気通貫物流の確立</li> <li>・ 海外物流拠点の増設</li> <li>・ 3国間物流の拡販</li> </ul>
モリコー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要エリア物流拠点の構築</li> <li>・ 人材、協力業者教育によるローコスト・ハイクオリティ運営</li> <li>・ 山陰配送ネットワークの構築</li> </ul>
ジェイピーエル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【Made in JPL】PRによる特殊・特化物の業容拡大</li> <li>・ システム化による処理能力の拡大</li> <li>・ グループ内連携の強化によるエリア拡大</li> </ul>
経営管理部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シェアードサービスの確立</li> <li>・ 専門人材教育の強化</li> <li>・ グループ内ライセンス、登用基準の作成</li> </ul>

## ■ 過去2年の国際物流事業運営会社(ペガサス2社)の拡大路線総括

- 平成23年 2月 (株)ペガサスグローバルエクスプレス(PGE) 国際宅配便事業開始(国交省認可)  
6月 IATA貨物代理店認可取得 ≪PGE本社 ⇒翌年2月大阪支店認可≫  
10月 第二種貨物利用運送事業(国際航空/一般混載事業)認可取得
- 平成24年 4月 東京税関より通関業許可取得 ≪PGE成田通関センター開設≫  
9月 中国・上海市にPGE駐在員事務所開設  
10月 タイ国バンコク市に現地法人 ≪Pegasus Global Express (Thailand) Co., Ltd.≫開設  
11月 (株)ペガサスカーゴサービス(PCS)営業開始 ≪(株)ハーバーマネジメント買収≫  
12月 タイ現地法人(PGET) バンコク空港所開設

## ■ (株)ペガサスグローバルエクスプレス(PGE)の業容拡大戦略



### < PGE国際宅配便事業 >

- ◇エリアに特化したターゲティングセールスにより、国際宅配既存商品の拡販を図ります。
- ◇インドネシア緊急通関サービスの増販を図ります。
- ◇国際宅配関連新商品の開発を推進します。(海外赴任サポート等)

### < PGE国際ロジスティクス事業 >

- ◇BUY-SELL機能活用によるフォワーディング・ロジスティクスの業容拡大を図ります。(3本柱強化)
- ◇自社海外ネットワークの整備・拡充を推進します。
- ◇M&A・業務提携等による業容拡大、自社海外物流拠点(ジャカルタ等)の設置を図ります。



## ■ (株)ペガサスカーゴサービス(PCS)の業容拡大戦略

- ◇増床倉庫活用によりカンダグループとの国際一貫輸送の取組み強化致します。(海貨運営)
- ◇システム対応及び保税上屋機能差別化による新商材の取り込みを図ります。(青果運営・海貨運営)
- ◇展示会・官公庁入札をはじめとして、新規獲得営業強化及び通関業量の拡大を図ります。(通関航空)
- ◇海外企業への提案営業強化を図りながらも、直接オファーがくる企業を目指します。(営業開発)

## ■ カンダ国際事業部の取組み

国際事業部を主体とした昨年度の取組を継続し、今年度は特にTPP環太平洋(アジア圏内)を意識した取組みの強化を図ります。

### ① グループ企業による国際一貫輸送体制(一気通貫)の構築を進めます。(自社の強みを生かした戦略)

・PCSの通関・保税上屋及びPGEフォワーディングを活用したカンダ国内物流(3PL)機能との連携強化

### ② 業容拡大(M&A/業務提携)、自社物流拠点の設置及び海外ネットワークの構築を計画しています。

- ・タイ現地法人のロジスティクス(タイ周辺国を含む)及びフォワーディング(タイ⇄日本・中国・インドネシア・米国等)営業強化
- ・インドネシア・ジャカルタに自社拠点設置(駐在員事務所開設 ⇒現地法人設立を目指す。)
- ・海外ネットワーク整備・強化(提携先パートナー企業の選定)

### ③ ペガサス2社(PGE+PCS)の機能融合及び国際物流要員の育成

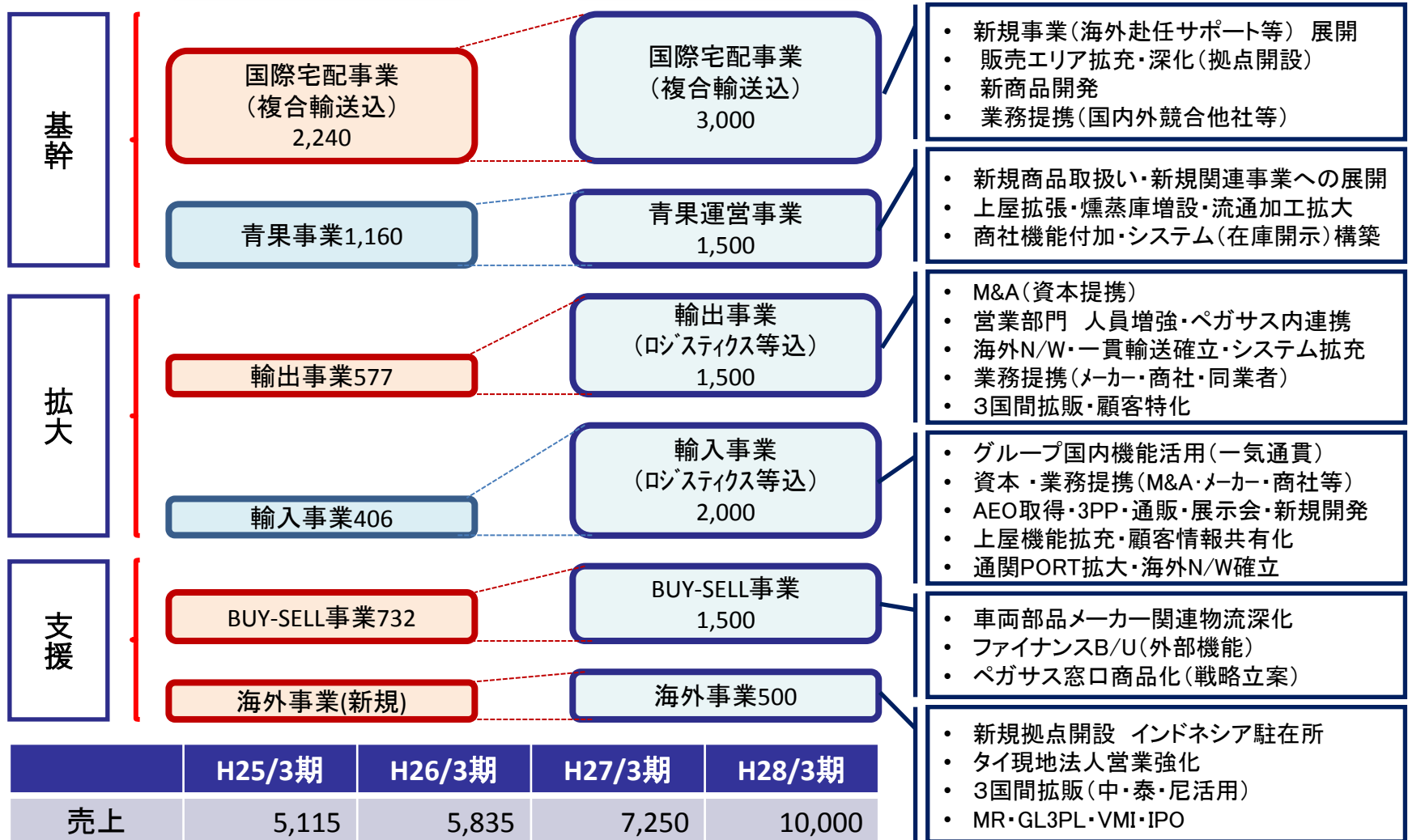


カンダ国際事業 売上高倍増 中期計画

カンダグループ グローバル3PL事業の展開を加速

平成25年3月期 >>>> 平成28年3月期

(枠内数値は売上 単位百万円)



	H25/3期	H26/3期	H27/3期	H28/3期
売上	5,115	5,835	7,250	10,000
経常	120	96	260	375

(H25/3期は連結前数値も加算しております。)

## ■ CSR活動

### コンプライアンス

法令・倫理綱領・社会規範・会社諸規程等に基づく企業倫理を確立し、公正で誠実な経営を実践します。

### ■ 内部統制

- ・ 内部統制(会社法、J-SOX、各業法)を強化いたします。

### ■ 品質管理

- ・ 全事業所を対象としたGマーク認定の取得を推進いたします。
- ・ 運輸安全マネジメントの実施を強化いたします。
- ・ セーフティアドバイザー制度の充実を図ります。
- ・ ダッシュ活動と5S運動を推進し、業務品質の向上を図ります。



### ■ 環境対策

- ・ 改正省エネ法による特定輸送業者として対応を強化いたします。
- ・ グリーン経営の認証取得を推進し、環境CSRを強化いたします。
- ・ エコドライブ運動の実施強化をいたします。
- ・ グリーンエコプロジェクトへの参画を拡大いたします。



### ■ 各種認証

- ISO27001 : 12事業所
- ISO 9001 : 2事業所
- ISO14001 : 1事業所
- Pマーク : 3社



## ■ カンダグループにおける運輸安全マネジメント

カンダグループでは「運輸安全マネジメント」を実施しております。  
社長以下従業員全員が一丸となった安全管理体制の構築を進めております。

**安全と生命はすべてに優先する**

「交通事故」や「労働災害」発生防止への取組み

## ■ 平成24年度までの取組み

- ・ セーフティアドバイザーとの連携強化。安全講習会、交通安全指導の実施
- ・ 初任運転者向け実車研修の実施
- ・ 労災事故防止に向けた体験型研修と技術研修の実施
- ・ 全車両ドライブレコーダーの装備
- ・ Gマーク認定取得状況:26事業所

## ■ 平成25年度 安全管理方針

- ・ コンプライアンス遵守
- ・ 交通事故及び労働災害削減
- ・ 輸送品質向上

## ■ 平成25年度の取組み

- ・ セーフティアドバイザー向けスキルアップ研修の開催
- ・ デジタルタコグラフの装着推進
- ・ 労災事故防止に向けたリスクアセスメント手法の定着と推進
- ・ アルコールチェック管理体制の継続強化



## ■ BCP(事業継続計画)

当社は、予想される重大な災害等(自然災害・感染症等)により、甚大な被害が発生した場合においても、物流サービスの継続的な提供により社会貢献を行うことを目的として『BCP基本方針』を定め『事業継続計画』を策定しています。

## ■ 基本方針

- ・ 従業員とその家族の安全・安心を最優先に活動します。
- ・ 施設、設備についての予防措置及び支援物資の確保を行います。
- ・ 事業存続及び早期復旧を目指した体制を確立します。
- ・ 地域社会の一員として貢献します。
- ・ 従業員の定期的な教育訓練と計画の定期的見直しを行います。

災害対策本部の設置	グループ内連絡体制	災害時拠点事業所の制定・防災倉庫の設置
HD社長の号令により速やかにHD本社を基点とした第一次本部を設置します。	緊急時連絡体制の構築および連絡不能状態の回避を行います。	各地域の自社大型物流施設を災害時拠点事業所および防災倉庫と制定し、情報・物資の地区拠点として活用します。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の安否確認</li> <li>・施設・資産の被災状況確認</li> <li>・業務運営状況確認</li> <li>・支援物資確保状況の確認</li> <li>・情報インフラ状況の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部連絡網の策定</li> <li>・各事業所連絡網の策定</li> <li>・顧客一覧の策定</li> <li>・衛星携帯電話の設置(本社および主要拠点)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏地区 ⇒ 岩槻物流センター</li> <li>・北関東地区 ⇒ 北関東物流センター</li> <li>・中京地区 ⇒ 小牧営業所</li> <li>・関西地区 ⇒ 堺物流センター</li> <li>・東北地区 ⇒ 南東北物流センター</li> </ul>
燃料の確保体制	データバックアップセンター	各事業所におけるBCP
インタンクによるグループ施設内確保および複数供給先との取引、燃料補給車両の設置を行います。	現在、情報システム部に設置してあるサーバーのバックアップセンターを関東地区に構築しております。また、今後関西地区に新たなバックアップセンターを構築いたします。	各事業所においては、特有の運営状況に対応するため、統一BCP以外の補完を行うとともに、地域特性まで考慮した対策を構築します。
< インタンク > <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩槻物流センター 20KL</li> <li>・北関東物流センター 30KL</li> <li>・足利営業所 10KL</li> <li>・堺物流センター 30KL</li> <li>・小牧営業所(検討中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東バックアップセンター</li> <li>・関西バックアップセンター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時出勤者の複数者氏名</li> <li>・耐震対策</li> <li>・自営消防団の編成・避難訓練の実施</li> <li>・緊急連絡網の整備</li> <li>・ハザードマップの取得</li> <li>・食糧・飲料水の確保(3日分)</li> </ul>



当資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等の記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらすことがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。



お問合せ先：カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話(03)-6327-1811(代) FAX(03)-6327-1800

ホームページ： <http://www.kanda-web.co.jp/>

e-mail： [hd-soumu@kanda-web.co.jp](mailto:hd-soumu@kanda-web.co.jp)